

# VOICE

【ヴォイス】

Vol. **24**  
2019 AUTUMN・WINTER  
November・December・January・February

VOICE  
特集

## 創立70周年記念特集

From 高精度放射線治療センター  
連携クリニック／北村医院、藤吉医院  
多根記念眼科病院／第3回 アイリスの会 開催報告  
多根クリニック／出張健康診断について  
亀望会／地域の希望となるための歩み  
居宅介護支援事業所より／介護保険施設と介護付有料老人ホームについて  
HAPPY RECIPE／レンコンつくねのキノコあんかけ  
INFORMATION



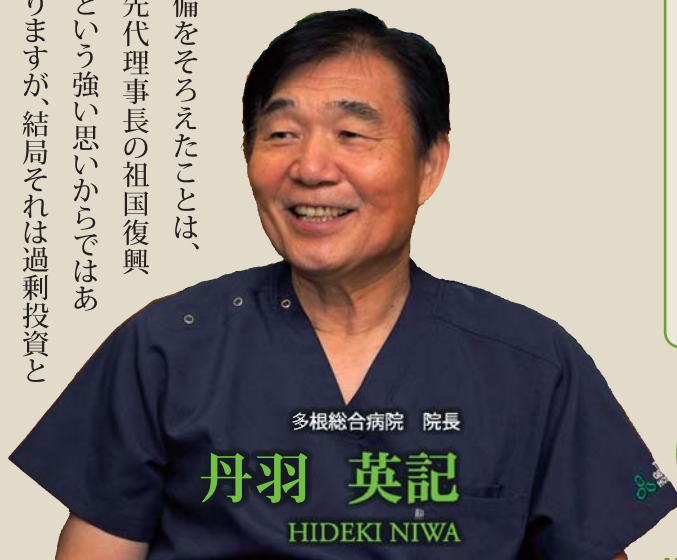
おかげさまで多根病院は70周年  
**70th**  
社会医療法人きつこう会  
Anniversary  
1949 2019

# 多根総合病院 創立70周年記念特集 座談会

社会医療法人きつこう会は、1949(昭和24)年10月、大阪市西区九条にて21床の病院として創立しました。おかげさまで今年(2019年)10月19日をもって創立70周年を迎えることができました。創立者である先代理事長、多根要之助が、フィリピン戦線から帰還、かろうじて生き永らえたその命を祖国復興のために捧げることを誓い、病院を開設したのが始まりです。  
今回は、きつこう会現理事長の小川嘉誉、多根総合病院院長の丹羽英記をはじめ、長年病院の歴史を支えてきたメンバーに集ってもらい、その歴史を振り返りたいと思います。

社会医療法人きつこう会 理事長 小川嘉誉(文中 小川嘉)  
多根総合病院 院長 丹羽英記 勤続32年(文中 丹羽)  
社会医療法人きつこう会 副理事長 多根一之 勤続19年(文中 多根)  
社会医療法人きつこう会 法人本部 医療技術部 統括部長 竹浦久司 勤続41年(文中 竹浦)  
多根記念眼科病院 看護師顧問 矢川靖子 勤続42年(文中 矢川)  
多根総合病院 法人部 管理部長 小川 仁(文中 小川仁)

座談会  
メンバー



多根総合病院 院長  
丹羽 英記  
HIDEKI NIWA

備をそろえたことは、先代理事長の祖国復興という強い思いからではあります。結局それは過剰投資となり、経営的には苦しい状態になっていました。丹羽 また、当時の医療制度にも問題があったのです。当時は手術などの医療技術に対する報酬が低かったため、薬を多く出すことで利益を上げる病院が多かったのです。でも先代は儲けばかりに走ることを良しとしなかった。小川嘉 さらに先代理事長も高齢になり、「もう病院を閉めようか」という話も出ていました。そこで先代の長女の夫である私が、先代の思いを継いで昭和62年に多根総合病院の院長に就任しました。そしてその時に現院長である丹羽先生も来てくれて、二人で病院の改革を行い立て直しを図ったのです。竹浦 私たち臨床検査技師も大きく変わりましたね。医師も優秀な方がたくさんいらっしゃって、手取り足取り検査について教えてもらうことができました。結果として正確なデータが早く出せるようになっていったのです。

## 創立者、多根要之助

小川嘉 創立者で先代の理事長である多根要之助は、島根出身、東京で働きながら苦学して医師となった人です。結婚直後にフィリピンに軍医として出征。過酷な激戦の中を潜り抜けて奇跡的に帰還することができました。それが昭和21年のことです。多根 戦地では「鉄砲の玉が私を避けた」とよく言っていました。戦火の中でも命を永らえて戦後の復興に寄与する。そういう運命にあったのだ、と思っていたようです。小川嘉 そしてフィリピンから帰還後、もう一度東京で病院勤務をしたり大学で研究をした。りしたのち、昭和24年、九条にあった病院を買い取って開業したのです。多根 普通なら診療所からスタートするものですが、外科、内科、小児科、産婦人科、耳鼻科、眼科がそろった21床の総合病院『多根病院』としてスタートしたのです。おそらく戦後の民間の最初の総合病院ではないでしょうか。

## 多根記念眼科病院設立

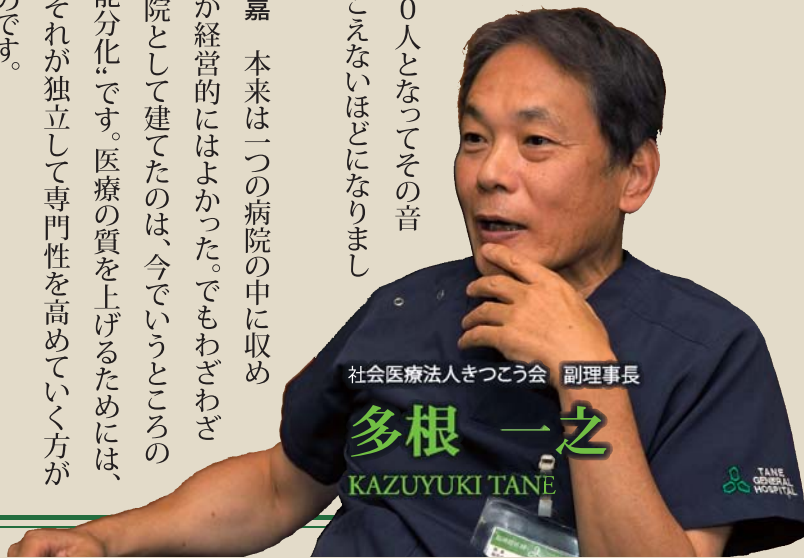
丹羽 当時は有名な大学病院でも検査にすぐく時間がかかりました。しかしこの病院ではすぐに正確な検査データが出てくる。それは現在にも引き継がれています。小川嘉 私が多根総合病院の院長に就任してから1年半後の昭和63年10月に多根記念眼科病院も開設しました。高度な専門技術を持つ眼科専門医が24時間体制で救急にも対応する、近畿で初めてと言われる眼科専門の総合病院です。多根 開設の動機は、先代理事長が大阪では眼科の救急対応が整っていないことを知ったからです。儲けようという発想ではなかったため、設立当初はものすごい赤字だったようです。それをしのげたのは、総合病院第二病院などの系列病院が助け合うことで乗り越えてきました。矢川 私は平成3年、開設されてすぐの眼科病院に異動になったのですが、当時は患者さまもそれほど多くなく1日100〜150人程度で、院内にあったエスカラーターの音がよく聞こえるほど静かだったのですが、今では300〜

## 新病院設立と再興

小川嘉 昭和44年に先代は、現在多根総合病院がある境川に新病院を設立しました。全館に冷暖房、地下に自家発電装置を設置し、非常時の対策も完備した病院で、当時から地域開放型病院を目指していました。CTもMRIもすぐに導入して最新設備が整っていました。民間病院ではCTは日本で3番目、関西では初めてだったと言われています。矢川 私が就職したのもこの病院ができて数年後のことです。先代理事長との触れ合いで思い出すのは、誕生日を迎える人を集めて、誕生日会という昼食会を毎月催してくださったことです。皆さんでお弁当を食べながら、みんなの話を聞いてくださったことを覚えています。多根 その後20年近く、新たな科の増設、増床をすすめて、昭和61年には高齢者や寝たきりの患者さまに対応するために特例許可老人病院の多根第二病院も開設しました。小川嘉 こういった充実した医療体制や最新設



社会医療法人きつこう会 理事長  
小川 嘉誉  
YOSHITAKA OGAWA



社会医療法人きつこう会 副理事長  
多根 一之  
KAZUYUKI TANE

400人となってその音も聞こえないほどになりました。小川嘉 本来は一つの病院の中に収める方が経営的にはよかったです。でもわざわざ別病院として建てたのは、今でいうところの「機能分化」です。医療の質を上げるためには、それぞれが独立して専門性を高めていく方がよいのです。多根 その機能分化と連携の意味も込めて、社会福祉法人 亀望会として平成10年に特別養護老人ホーム『江之子島コスモス苑』、平成12年にはケアハウス『コスモスガーデン』も設立しました。丹羽 さまざまな医療と介護などの連携として、今でこそ『地域包括ケア』として主流となりつつある形態ですが、私たちはそれをこの時点からやっていたのです。転機となった日帰り手術センター

丹羽 総合病院というのは地域のためにあるものではないですが、地域外からの患者さまも受け入れないといけない。それで平成10年に設立

## <多根総合病院 70年の歩み>

- 1949(昭和24)年10月  
大阪市西区九条に病院を開設(21床)
- 1955(昭和30)年9月  
医療法人きつこう会登記
- 1968(昭和43)年10月  
新病院開設・収容定員220床
- 1969(昭和44)年7月  
総合病院の名称承認
- 1981(昭和56)年9月  
東館竣工・162床増床
- 1986(昭和61)年8月  
多根第二病院開設(180床)
- 1988(昭和63)年10月  
多根記念眼科病院開設
- 1991(平成3)年11月  
初代理事長 多根要之助が  
勲三等瑞宝章受章
- 1993(平成5)年5月  
多根クリニック(人間ドック)開設



旧病院の玄関と初代の往診兼患者輸送に購入したダットサン(昭和26年)



新病院竣工(昭和44年)



多根第二病院(昭和61年)



多根記念眼科病院(昭和63年)



多根要之助

- 1996(平成8)年4月  
多根要之助が名誉理事長に就任  
小川嘉誉がきつこう会理事長に就任
- 1998(平成10)年  
7月 社会福祉法人亀望会  
特別養護老人ホーム  
江之子島コスモス苑  
および診療所設置
- 10月 日帰り手術センター開設
- 2000(平成12)年  
2月 大阪市港区築港に新多根第二病院と  
多根介護老人保健施設てんぼーざん  
開設
- 新多根第二病院と多根介護老人保健施設てんぼーざん(平成12年)
- <第二病院移設>  
4月 社会福祉法人亀望会  
ケアハウス コスモスガーデン開設
- 2001(平成13)年  
5月 多根訪問看護ステーション開設
- 6月 多根脳神経  
リハビリテーション病院開設
- 2009(平成21)年2月  
多根総合病院と名称変更
- 2011(平成23)年  
3月 現地に新病院を開院・移転
- 5月 災害拠点病院の指定を受ける
- 2019(令和元)年10月  
多根総合病院創立70周年



特別養護老人ホーム  
江之子島コスモス苑(平成10年)



新多根第二病院と多根介護老人保健施設てんぼーざん(平成12年)



ケアハウス コスモスガーデン(平成12年)



多根脳神経リハビリテーション病院(平成13年)



新多根総合病院(平成23年)

## <大阪市・大正区の歴史>

- |                  |                     |               |                           |
|------------------|---------------------|---------------|---------------------------|
| 1949(昭和24)年 6月   | 大阪市立大学が開学           | 1994(平成 6)年9月 | 関西国際空港開港                  |
| 1950(昭和25)年 9月   | ジェーン台風で大きな被害が出る     | 1995(平成 7)年1月 | 阪神・淡路大震災で被害               |
| 1955(昭和30)年10月   | 大阪市内の中心地に鞠公園を開園     | 1997(平成 9)年2月 | 大阪ドーム(現 京セラドーム大阪)完成       |
| 1956(昭和31)年 9月   | 大阪市の政令指定都市になる       | 2001(平成13)年3月 | ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)オープン |
| 1970(昭和45)年 3~9月 | 日本万国博覧会(大阪万博)開幕     | 2008(平成20)年8月 | IKEA鶴浜オープン                |
| 10月              | 大阪城公園完成             | 2014(平成26)年3月 | あべのハルカス開業                 |
| 1983(昭和58)年10月   | 大阪城ホール完成、世界帆船まつり開催  | 2018(平成30)年   | 大阪市交通局が民営化                |
| 1985(昭和60)年 5月   | 南港にインテックス大阪開場       |               | 大阪で2025年万博が開催されることが決定     |
| 1990(平成 2)年4~9月  | 国際花と緑の博覧会開幕         |               |                           |
| 7月               | 海遊館・天保山ハーバービレッジオープン |               |                           |

したのが『日帰り手術センター』です。名前の通り、手術した当日または翌日には帰宅できるセンターです。

小川嘉 レベルの高い最先端医療を提供して、手術を受けた人が翌日から会社に行ける。これは社会的価値があると思っています。

竹浦 日帰り手術センターができて、私たち検査に携わる者の職場は戦場となりましたが(笑)。我々は患者さまが来院され、検査を受けられてからすべての結果を30分程で出さないとはいけませんから。

丹羽 そのおかげで日帰り手術センターでは、検査結果の速さと多職種連携による迅速な対応によって、外来での待ち時間もほとんどないようになっているのです。他の病院よりはるかに満足度が高いため口コミで評判が広がり、全国から患者さまが集まるようになり、病院の知名度も全国区となりました。今では日帰り手術件数は年間2000件で全国1位です。そして、患者さまの9割が地域外の方です。



社会医療法人きつこう会  
法人本部 医療技術部 統括部長  
**竹浦 久司**  
HISASHI TAKEURA

**未来を見据えた医療連携システム**

小川嘉 2025年には高齢化率30%以上、2040年には高齢化率35%以上になると予想されています。そのため、国は地域ごとに医療と介護がしっかり連携して提供されるよう『地域包括ケアシステム』という構想を推進しています。

多根 そこで、今から5年前、『KHSきつこう会ヘルスケアシステム』を構築しました。これは地域開業医の先生方との連携、病院間での連携、病院と介護施設サービスとの連携、病院と地域の皆さまとの信頼関係などを構築することで、地域の皆さまが医療や介護のサービスを受けやすくなるようにするものです。

小川嘉 私ももう84歳。代が変わってしまう前に、いかにこのKHSの各役割をより充実させ、より連携を強化していくか。これが課題です。

小川仁 事務方としては、いろんなチャンネルにおいて良質なコミュニケーションをとれる組織風土づくりが大切であると思っています。地域の診療所や他法人を含む病院や施設との間、異職種間、我々と患者さま・利用者さまをはじめ地域の皆さまとの間、さらには関連事業者の皆さまや大学・行政との間など。これらどのコミュニケーションが欠けても地域包括ケアシステムは実現できません。最近では地域の方々

のコミュニケーションづくりに特に力を入れ始め、地域の運動会に参加したり、行事やお祭りなどに出席して無料の出張医療相談や簡単な検査を行ったりもしています。

多根 いずれは亀望会云々の療養施設などもこの境川周辺で提供し、より連携しやすい体制を整えたいですね。

小川嘉 「この地域にメディカルセンターを作りたい」がなくて私が院長に就任した時の想いであります。そのための準備も着々と進めています。小さいお子さんから高齢者の方まで、包括的にケアできる。そういう共生社会を作らなければならぬと思っています。

丹羽 付け加えるなら、医療の世界は日々技術が進歩していることから、その技術を担う者の育成が大切だと思っています。これからの医療はあらゆる面でAIに変わっていくことになり、患者さまとの接触機会も減っていくことになります。患者さまの気持ちも汲み取りながら先端技術をどう伝えていくのか。それが大切だと考えています。



多根総合病院 法人部 管理部長  
**小川 仁**  
HITOSHI OGAWA

## 不思議な縁で結ばれた30年

皆さま、こんにちは。今年できつこう会に入職させていただきまして30年を迎えた法人本部企画部の四方です。私はきつこう会ときつと不思議な縁で結ばれているに違いないと勝手に信じ、働いてまいりました(笑)。と言いますのも私の母の姉が1967(昭和42)年頃、当時建設中であった旧多根病院の近くに住んでおり、たまたま遊びに来ていた物心がついたばかりの私は工事現場を見て母に何を建てての？と尋ねたそうです。私がかつこう会で働くことが決まった際、母が驚いたのと言うまでもありません。

この30年、本当にあつという間でした。多根病院時代は患者さまやご家族への対応に追われる一方で、地域連携の推進や開放型病院の認可取得、そして在宅医療の展開や日帰り手術センター、初期臨床研修センターの立ち上げなど様々なことに諸先生方と共に取り組まさせていただきました。そして今は将来計画の立案や人材育成、外部団体との活動などに携わっております。

昨年は眼科病院の30周年と社会福祉法人亀望会の20周年、そして今年はいきつこう会の70周年とお祝いですが、浮わつくことなく地域住民の皆さまの健康を守るため、より一層医療・福祉の充実に微力ながら貢献してまいりたいと思います。皆さま、今後とも何卒よろしくお願ひします。



## プレイバック あの頃…

# What do you think at that time?

## とりあえず3年から30年！

学生時代、就職先は病院と決めてましたが、募集が来ないまま1983(昭和58)年2月、ついに多根総合病院で栄養士募集がありますか？の質問に(えっ採用!?)卒業式の翌日から働けます」と返事し3月半ばから勤務することになりました。

入職当時の栄養科は、地下1階にあり、外の天気分からない、1階で水が溢れたら天井から水が降ってくる、ゲリラ豪雨では浸水する、空調が効かないなど最悪の環境でした。先輩には「建て替えは3年後」と言われて楽しみにしていましたがなかなかその日が来ないまま…。ようやく2011(平成23)年3月1日新病院オープン！栄養科は念願の地上5階、窓から外が見える、空調は問題ない。旧病院で働いていた者からすればとても恵まれた環境です。

新人の頃の一番緊張した思い出は、私と同期の新人二人が休日出勤した日のこと。臍臓食のオーダーが入り、それまでも治療食の献立作成はしていましたが「臍臓食」は入職して初めて出た食種でした。新人二人で、約束食事箋を基に病態栄養の教科書や成分表を見て当日と翌日献立を作成し、調理の方にも「脂質制限します」と作り方などを説明し献立通り作っていただきました。翌日先輩からOKが出た時は本当にホッとしました。その頃「この仕事は自分に合ってるんだろうか？」と悩んだこともありましたが「石の上にも3年、3年は頑張ってみたら」と説得され、とりあえず3年間…が30年以上が経過、長い「3年」です！このまま定年まで走り続けます。



## 多根総合病院と共に歩んだ32年

私が当法人にお世話になったのは1987(昭和62)年2月。医療との『縁』と言えば、ケガや発熱で開業医にかかるぐらいで、大学の専攻も全くの畑違い。ところが就職してお世話になり始めると、今までは経験できないような様々な『縁』をいただきました。

一つ目の『縁』は救急車。入職した当時の主たる業務は、なんと、多根総合病院の救急車の運転。『ビーポー』とサイレンを鳴らし、赤色灯を回して、「救急車の運転って普通免許でいいの?」と思いつながら1年半。

二つ目の『縁』は医事。だいたいカルテの「カ」の字も知らない人間がどうするの?そんな感じで始めました。当時はパソコンはまだ普及しておらず、もっぱらワープロの世の中。もちろん自動算定みたいな便利なものも無かったので「静脈採血料」ですら〇〇回と入力。また情報に関し、使用媒体は全て紙なので、少ない情報で大きな容量が必要だったため取り扱いが大変でした。

三つ目の『縁』は病院施設の移転。2000(平成12)年2月の多根第二病院、そして2011(平成23)年3月の多根総合病院の移転です。特に多根総合病院の時は事務関係の届出をほとんど行い、これまためっちゃ疲れました。

そして…最後の『縁』は、うちの嫁です！

『縁』は出会った時には分かりませんが、自分の歴史の一行に加わるので大切にしたいですね。



## 連携クリニック

### 連携クリニックとは

病院とクリニックとが互いに緊密に手を取り合い、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指すためのネットワークです。当院でも安心して治療を受けていただけるよう地域のクリニックにご登録いただいております。

### 北村医院

【診療科目】内科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科

<http://www.minato-med.or.jp/clinic/kitamura.html>

北村医院は、大阪市港区で開院され、北村雅哉院長が三代目という歴史あるクリニックです。同クリニックで、今年14年目を迎えられた北村院長。生活の質の向上を目指した老人医療に力を入れているそうです。

—北村院長は大学病院などで泌尿器科を専門とされていたそうですね。

はい。しかし、今は総合医として内科系の診療が多いですね。中でも糖尿病や認知症治療に力を入れています。

—外国の方も多いとか。

そうなんです。港区という土地柄か、最近USJのスタッフの方など外国の方の患者さまも増えているんですよ。私は3年間アメリカで研究生生活を送っていたので対応可能です。

—新しく16列のCTを導入されました。

この機器は、約10秒の息止めで被ばく量も少なく検査ができます。熟練の技師による胃透視、放射線専門医の読影により、外科系も含めた多くの疾患も早期に発見できるように導入しました。

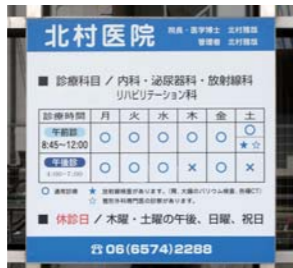
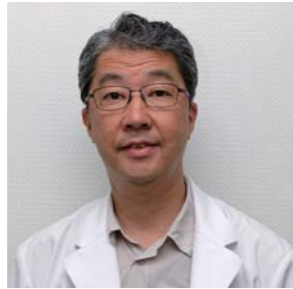
—外科系にも力を入れているんですね。

土曜午前診に整形外科専門医による特診をしています。院内の2階に設けていますリハビリ施設とともども好評をいただいています。

院長 **北村 雅哉**

趣味/スキー、登山

〒552-0023  
大阪市港区港晴2-4-4  
TEL:06-6574-2288



### 藤吉医院

【診療科目】内科、消化器科

<http://www.fujiyoshi-iin.jp/>

1996(平成8)年に同地大正区泉尾にて開院された藤吉医院。以降20年以上も近隣の方々の健康を守っていらっしゃいます。

—済生会泉尾病院の内科で長年経験をされたそうですね。はい、約10年間地域医療に力を入れて様々な経験を積み、そのキャリアを生かして開院しました。内科、消化器科を専門としています。腹部エコー、頸動脈エコー、その他検査も随時行っています。患者さまの健康状態を最も理解した医療の専門家として長期的な関係を重視しています。

—禁煙外来も開設されています。

喫煙をなかなか止められない方に的確なアドバイスを行う専門外来も開設しました。また、認知症のサポート医としてご相談にも対応しております。

—まさに「ホームドクター」ですね。

開業以来、庶民的で誠実なスタッフと共に歩んできました。常に患者さまに納得いただける治療を行えるよう、じっくりとお話をうかがい、丁寧な治療説明を行っています。

—在宅医療・往診も行っているんですね。

はい、診療時間外に訪問し、地域の訪問看護ステーションとも連携して24時間緻密な対応ができるようにしています。

院長 **藤吉 庸雅**

趣味/ドラム演奏、作曲、お笑い

〒551-0031  
大阪市大正区泉尾4-17-12  
東洋プラザ泉尾1F  
TEL:06-6552-0810



奥さまがデザインされたボール

## From 高精度放射線治療センター

## 放射線治療に関するQ&A

今回は、放射線治療に関して、実際に治療を受ける患者さまからよくいただく質問をご紹介します。



### Q1 放射線治療をすると、髪の毛が抜けますか?

**A** 放射線治療による影響は、放射線を当てた部位にしか生じません。そのため、頭部に照射をしていなければ、髪の毛が抜ける心配はありません。ただし、化学療法を併用される場合、化学療法の影響で治療中に髪の毛が抜けることがあります。

### Q2 放射線治療をした後、家族や周囲の人に影響はないですか?

**A** 通常の放射線治療で用いる放射線(エックス線)は光のようなもので、照射時のみ人体に影響を与えます。そのため放射線そのものが体に残ることはなく、治療後に家族や周囲の人に影響を与えることは全くありません。お子様にも通常通り接することができます。

### Q3 放射線治療は、同じ部位に再度行うことはできないのですか?

**A** 正常組織が放射線によるダメージを受けた場合、一旦回復はしますが、潜在的なダメージは残存し、何年たっても完全には回復しないといわれています。また、多くのがんに対する放射線治療の場合、正常組織が許容できる限度まで照射されていることが多いため、同じ部位に照射をすることは困難なことがあります。しかし、近年では放射線治療技術の向上によって、腫瘍に局限したピンポイント照射ができます。それにより、放射線治療後の局所再発に対しても、再照射ができる場合があるため、あきらめずに、まずは放射線腫瘍医に相談してください。なお、当院では保険診療外でも高精度治療を行うことが患者さまの治療に有用である場合には、自由診療による治療の実施にも対応しています。



多根クリニック  
出張健康診断  
について

今回は番外編としてバスによる出張健康診断についてご紹介します。



私共きつこう会グループでは、人間ドックなど個人の方の健診を中心として取り扱いをさせていただいております「多根クリニック」と、もうひとつ企業さまの法定健診を中心とした「多根総合病院健診部診療所」があります。多根総合病院健診部診療所では、主に企業さまの会社ヘレントゲン車などでお伺いさせていただき、お客さまの職場に設備を設置し、その場で健康診断を実施いたします。

社内で健康診断を実施することについてはなかなかイメージがわからないかもしれませんが、実際は右の写真のように、10坪程度の会議室で充分健診ができます。

Before



After



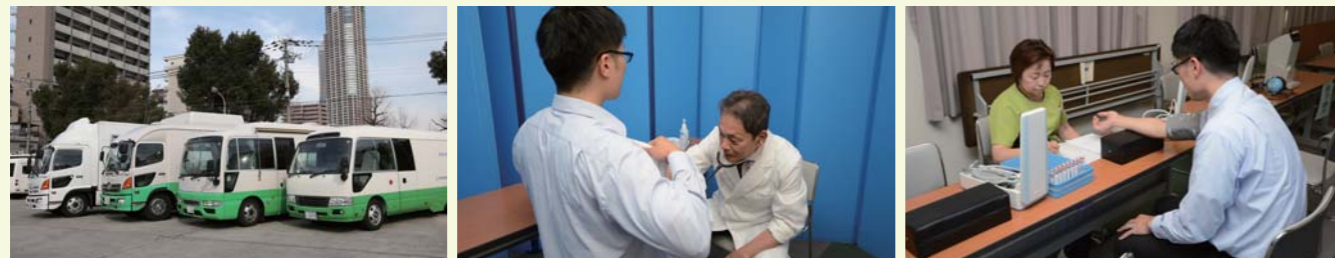
診療所で行う健診に比べて、出張健康診断をすると下記のような声をいただくことが多いです。

- 出張健診にて3時間で100名を超える健診がスムーズに終わり驚きました。
- 以前は健康診断の結果が、社員が受けた施設が違うと結果様式もバラバラだったので整理するのに苦労したが、一括で受けさせているので、結果表が同じで管理が楽になった。
- 健康診断の結果の管理だけでなく、労働基準監督署への提出書類にも手間取ってましたが、健診後に結果も労基集計もまとめて出してもらえて助かった。
- 日程的に平日は厳しい職種なのですが、土日祝日の健診も相談にのってもらえました。
- こちらに来てくれるので、受診させる職員のシフト割が楽だった。

昨年度は年間280件25,000名を超える方々に健診をご利用いただきました。また大阪府下を中心に一般企業、官公庁、学校など幅広いニーズに対応しております。

受診される方が30名程度のもまとまった数がある企業さまでしたら、健診内容や使われる健康保険組合さまの補助にもよりますが、充分お力になれるご提案ができるかと思っておりますので、企業のご担当者さまは、一度出張健診もご検討いただければ幸いです。

多根総合病院健診部診療所では、上記の法定健診から、塵肺などの特殊健診、協会けんぽなどの各種健康保険組合の生活習慣病健診、最近注目されてきているストレスチェックや産業医のご依頼などにも幅広く対応しております。



詳しくは右記まで **多根総合病院健診部診療所** お問い合わせ先 **06-6586-3377**  
〒550-0024 大阪市西区境川1-2-37



多根記念眼科病院

第3回 アイリスの会 開催報告



去る6月22日(土)、「第3回 アイリスの会」が開催されました。

「アイリスの会」は眼科病院に患者さまをご紹介いただく地域の先生方をお招きし、当院の現状を知ってもらうとともに、先生方との情報交換と親睦を深めることを目的にした病診連携の会です。本格開催となつてから5回目(アイリスの会の前身「若葉の会」を含む)となる今年は、77名の先生方にご参加いただきました。

小川嘉誉理事長、櫻井寿也院長の挨拶に続き、講演会では近視進行抑制や角膜・網膜硝子体などの眼疾患について、当院で実施している最新の治療と実績が紹介されました。

今回は、コメディカルから多焦点眼内レンズについての説明やレンズ選択をサポートするマルチコーディネーターについての発表もありました。

また、地域連携室からは、逆紹介の際に使用してい

る独自に作成したマイマップの紹介や、患者さまへの聞き取り調査の結果に基づく改善点など、1年間の活動報告をさせていただきました。

さらに、特別講演として、神奈川県横浜市のクイーンズ・アイ・クリニック院長の荒井宏幸先生をお招きし、「より快適な『見え方』を求めて～LASIKからコンフォートまで～」と題してご講演いただきました。屈折矯正手術、多焦点眼内レンズ、円錐角膜治療まで、多岐にわたる最新の治療方法についてのお話に、参加された先生方が興味深く真剣な表情で聴き入っている姿が印象的でした。

その後の懇親会にも多くの先生方が参加してくださいました。短い時間でしたが、先生同士が直接顔を合わせた交流・情報交換の場としてこちらも盛会のうちに終わりました。

本会が病診連携の発展に寄与できるよう、これからも職員一同努力していきたいと思っております。



櫻井寿也院長

# 居宅介護支援事業所より

## 第11回 介護保険施設と介護付有料老人ホームについて

多根総合病院居宅介護支援事業所 所長 日當 福太郎

在宅のケアマネジャーとして様々な相談をお受けする中で、施設について質問を受ける機会も多くあります。今回は各施設の特徴などについてポイントをご説明いたします。

### ●特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)

<b>施設の特徴</b>	原則、介護度3以上の方しか入居できない施設になります。入居されている方は、寝たきりなどの重度な方が多いのが特徴です。入所すれば、お亡くなりになるまで見てくれる施設も増えてきています。
<b>医療体制</b>	医師 常駐していません。施設と契約している医師が診察してくれます。 看護師 昼間のみ常駐しています。 リハビリテーション専門職 基本いません。 外部の病院や診療所の受診 可能ですが、家族で対応する必要があります。
<b>費用</b>	月5万～15万円程度。 ○所得や貯金に応じて費用が違います。住民税非課税であれば、市町村に申請することで食費や居住費の補助が受けられるために大幅に料金が安くなります。 ○個室か4人部屋に入居するかで、費用が大きく変わり、当然個室の方が高くなります。また最近建設された施設は、個室が多く料金が高くなる傾向にあります。 ○オムツ代は料金に含まれています。 ○医療費も医療保険対応で別途発生します。 ○日用品費などは、施設により料金が異なるので、契約時に確認が必要です。

### ●介護老人保健施設(介護老人福祉施設)

<b>施設の特徴</b>	介護度1以上から入居可能。要支援者は入居できません。リハビリを行うことで在宅に戻ることを目的とした施設です。しかし様々な理由で、以前は長期で入所されている利用者が多かったですが、平成30年の制度改革の影響で、多くの施設が在宅復帰への取り組みを強化しています。基本はずっと入居できる施設ではないことを認識して入所する必要があります。 *退所についての考え方は施設により異なるために、入所前に施設の相談員とよく相談しておく必要があります。
<b>医療体制</b>	医師 昼間は勤務しています。施設長は医師であることが多いです。 看護師 昼間・夜間ともに勤務しています。 リハビリテーション専門職 勤務しています。 外部の病院や診療所の受診 原則不可です。 *薬は施設で処方できるものだけになるために、入所前の処方内容から変更される場合が多々あります。
<b>費用</b>	月5万～15万円程度。 ○基本的には特別養護老人ホームと大きな料金の差はありません。 *基本料金は特養よりも高いですが、高額介護サービスの申請をしておけば、特養と大きな料金の差がなく、入所できます。

### ●介護付有料老人ホーム(特定施設)

<b>施設の特徴</b>	要支援から入居可能です。
<b>医療体制</b>	医師 常駐していません。施設と契約している医師が診察してくれることが多いです。 看護師 昼間のみ常駐している所が多いです。 リハビリテーション専門職 いない所が多いです。 外部の病院や診療所の受診 可能です。 外部の病院などへの受診も有料で対応してくれる施設もあります。 *看護師の夜間常駐やリハビリ専門職がいることを施設の売りとしている所もあります。ただ一般的に医療職が充実している所は費用も高額になる傾向があります。
<b>費用</b>	月20万円～ ○所得により食費や居住費の免除がありません。 ○施設のちらしなどでは、月15万円～などと記載されていますが、月20万円はかかるか考えていた方がよいと思います。 ○入居一時金が発生します(0～1000万円以上)

### ●住宅型有料老人ホーム

<b>施設の特徴</b>	あくまでも住宅なので非該当でも入居できます。ただ受け入れ可否は施設により異なります。介護サービスは外部のヘルパーやデイサービスなどの介護サービスを利用することも可能です。ただ同じ建物内に訪問介護事業所(ヘルパー)や訪問看護ステーションがある場合も多く、入居者の方はその建物内のサービスを利用しているケースが多くみられます。
<b>医療体制</b>	なし
<b>費用</b>	月20万円～ *基本、外部の医療機関を受診します。ただ自身で探せない場合は、施設側が診療所などを紹介してくれます。

### ●グループホーム(認知症対応型共同生活介護)

<b>施設の特徴</b>	要支援から入居可。認知症と診断された方の専用の施設です。
<b>医療体制</b>	体制別養護老人ホームとほぼ一緒です。
<b>費用</b>	月15万～20万円程度。 ○所得による食費や居住費の免除がありません。 ○入居一時金が発生します(0～30万円程度) *金額は全て目安です。

お問い合わせ先 多根総合病院居宅介護支援事業所 TEL.06-6536-8803



## 「地域貢献活動」vol.11

### 地域の希望となるための歩み

法人本部 丹羽 俊介



地域住民の交流の場づくりとして亀望会が取り組んでいる地域貢献活動を3つご紹介いたします。

まず、江之子島コスモス苑で行っている『カラオケ喫茶』。歌うことが好きだけどカラオケが近所でできない所がない、という声が地域の方からあり施設の機能訓練室を使用し、月1回開催しています。最初に馴染みのある童謡などを数曲全員で歌って声を出し、初めての方も気軽に参加できる雰囲気と和気あいあいとやっています。

2つめは江之子島コスモス苑と認知症デイサービス「コスモのかぜ九条南」で行っている『シニア料理教室』。在宅で介護されている男性の方をメインターゲットにしており、料理に慣れていない方でも簡単に作れる料理を紹介し、作り方を教えながら参加者に調理していただいています。教室のレシピを持ち帰り後日家族に料理を振る舞いととても喜んでくれた、という声もあり、ご好評をいただいております。

最後に「コスモのかぜ九条南」で行っている『オレンジ(認知症)カフェ』。どなたでも参加でき、在宅で介護されている方同士で意見交換されたり、介護についての悩みを専門職に相談することもできます。やはり同じ境遇の方と話すことで、かなり気持ちが楽になったと、継続して来られる方が多いです。

ご紹介させていただいたこれらの活動は認知予防、ピアカウンセリング(在宅介護をされている方同士の交流による介護負担の軽減)の役割を持つだけでなく、私たちにとっても地域の方からの声を直に聞くことができる貴重な場です。現状維持ではなく要望に合わせて様々な活動に取り組んでいきたいと考えております。

これからも地域住民の交流のきっかけづくり、そして少しでも楽しく過ごしやすい地域の環境づくりができるよう法人全体で取り組み、地域の方と共に歩んでいきたいと思っております。



## INFORMATION

## 七夕イベントを院内で開催しました

各病棟や外来で笹をかざり、患者さまやご家族の方々に願いを書いた短冊を付けてもらいました。七夕終了後は回収した短冊を、神社に奉納させていただきました。



## 7月27日(土) 今年も当院にて「ブラック・ジャック セミナー」を開催しました

「将来を担う子どもたちに医師の仕事に対する夢と希望を抱いて欲しい」という思いから、社会貢献活動の一環として、2005(平成17)年7月にスタートした「ブラック・ジャック セミナー」。当院もこのイベントに参画しており、今年で8回目を迎えます。

今回は、高校生を中心に、近隣の学生さん11名に参加いただきました。手術縫合体験や自動吻合器体験など様々な体験をしてもらいましたが、医療関係に興味を持っている学生さんたちの真剣なまなざしが印象的でした。また、教えている側の研修医たちも充実した一日になりました。

## 「ブラック・ジャック セミナー」とは・・・

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニーと全国の医療機関で社会貢献活動の一環として共催されているイベントです。全国各地で開催されており、将来の医師、医療関係者をめざす高校生を対象に、実際の手術室で様々な手術の模擬体験してもらっています。2005(平成17)年7月、子ども向けの手術体験として「キッズセミナー」をスタート。2011(平成23)年1月、手塚プロダクションの賛同を得て「ブラック・ジャック セミナー」に名称を改め、現在では開催数100回を超えています。



## 7月28日(日) 「多根総合病院CSファミリーデー2019」開催

「ファミリーデー」は病院スタッフの家族に職場を見てもらい、家族間の交流を深めることを目的とした院内行事です。今回は15家族、43名(大人20人、子供23人)の参加となりました。

毎年子供たちに人気の救急車見学では、運転席に座ってみたり、設備を触ってみたり、目をキラキラさせながら楽しんでいました。採血室で注射を打つマネや包帯を巻く体験をし、実際に心電図もとってみました。手術室では吸引の体験、放射線科ではMRIの磁力を体感しました。お父さんやお母さんの日々の仕事を肌で感じる事ができたと思います。最後に白衣やナース服を着た子供との家族写真撮影をしましたが、ブカブカの制服を着た子供たちの姿がとても可愛らしく、職員の満足度向上にも繋がる良いイベントになったと思います。



## HAPPY RECIPE

ハッピーレシピ

今回のレシピ 病院でも人気のメニュー!  
レンコンつくねのキノコあんが

医療技術部 栄養管理部門 管理栄養士  
岡本恵梨



- 材料/4人前  
(1人前234kcal)
- 鶏ひき肉…300g 塩…小さじ1  
◆卵…Mサイズ1個 ◆パン粉…大さじ3  
◆おろししょうが…大さじ1  
レンコン…200g お好きなキノコ類…300g程度  
★醤油…大さじ1/2 ★酒…大さじ1/2  
★塩…小さじ1/2 ★だし…300cc  
かたくり粉…大さじ1小ネギ…お好みで

## ●作り方

- ①レンコンは1/3をみじん切りにし、残りを皮ごとすりおろして軽く水気を切っておく。キノコ類は石づきを除き、食べやすい大きさに切る。
- ②ボールにひき肉と塩を入れ、粘りが出るまでよく混ぜる。◆を加えてさらに混ぜ、最後にレンコンを加えて混ぜ、12等分程度の一口大に丸める。
- ③耐熱容器に②を並べ、軽くラップをして600Wの電子レンジで5分加熱する。
- ④小鍋にキノコと★を入れよく混ぜて火にかけ、煮立ったら水溶きかたくり粉でとろみをつける。
- ⑤器に③を盛り、④をかけて刻んだ小ネギを散らせば完成!

冬は年末年始の暴飲暴食や不規則な生活で胃腸が弱りやすい時期です。腸内環境が悪化すると、便秘になりやすかったり、免疫力が下がり風邪を引きやすくなります。

そんな冬に是非摂っていただきたいのが食物繊維です。食物繊維は不溶性と水溶性の2種類に分けられ、不溶性食物繊維は、水分を吸着して膨らむため腸が刺激され排便を促します。水溶性食物繊維は、水に溶けると粘度が増すため便の滑りをよくし、腸内の善玉菌のエサになって善玉菌の増殖を促します。今回は、旬の食材を使った食物繊維たっぷりのおすすめレシピをご紹介します。ヘルシーなのに食べ応えのある一品で、電子レンジを使っているので時短にもなります。

上手に食物繊維を摂って腸内環境を改善しましょう!

## NEWS

## 多根総合病院は10月19日、創立70周年を迎えました

10月12日(土)、リーガロイヤルホテルで創立70周年を記念した「多根総合病院70周年記念式典」を開催しました。台風にもかかわらず、院内外より約430名が参加しました。勤続30年以上の職員や、いつもお世話になっている方々を来賓に招き、無事に式典を終えることができました。これからもきつこう会一同、地域の皆さまのために医療の力で貢献していきたいと思っております。





## 世界で認められている、切り絵ユニット ari の切り絵を展示中 vol.2

世界的に活躍されている切り絵ユニット ari の切り絵をエントランスホールにて展示中です。一見すると絵画と見紛う切り絵は、私たちにいろいろなメッセージを届けてくれます。ari は、絵師 Akira さんが下絵を描き、切り師 Rie さんが髪の毛ほどの細かさでその下絵を切り抜いて仕上げられている作品です。前号に続きお二人にお話をうかがいました。※前号と今号にわたってご紹介しています。

### 作品のテーマはどのように決められているのですか？

**Akira:** 基本的に私が決めています。仕上がった作品の名前は Rie が決めています。

### 作品に込められた思いは？

**Akira:** 遠くから観るとき近くから観るとき、正面から横から、下から観るとき、そして今日観るとき明日観るとき…と、観る状況によって観え方が違うように作っています。気分が良いとき、ちょっと落ち込んでいるときでも観え方が違うんですよ。これは、凹凸がある切り絵だからこそ表現できるんです。

### メッセージをお願いします。

**Akira:** 観てもらえるということが嬉しいんです。病院に来られる方は気分がすぐれない方が多いと思いますが、少し気分が良いとき切り絵は明るく軽く感じられると思います。自分の気分のバロメーターとしても観てもらえるかなと思います。

**Rie:** 細かく細かく果てしなく切り進んでいくのですが、いつ完成するのかと不安になることがあります。でもいつかは完成するんです。病気も同じように焦らず少しずつ養生されたらきっと良くなる日がくると思うんですよ。



切り絵ユニット ari <絵師 Akira さん(左)、切り師 Rie さん(右)>



2015年  
サロン・ドートンヌ展  
入選作品  
「MUGEN NI」



2018年  
サロン・ドートンヌ展  
入選作品  
「FUKA」

## 今号の表紙について

### Q. 今回のイラストのテーマおよび訴求したいことは？

**A.** 病院をクリスマスプレゼントに、京セラドームを銀のベルに見立てています。今年は多根総合病院創立70周年ということで、これからリボンをほどいてお祝いをはじめイメージです。

### Q. イラスト制作にあたり苦労した点は？

**A.** これまではサンタたちを少し離れたところに描いていました。今回は屋上に別のキャラクターたちがいるので、サンタたちは病院前のリボンの道から急いで飛び立っていくことにしました。そのおかげで、まだプレゼントをもらっていない子供たちの分を、最後にぼろっと落として渡す場面が生まれました。

### Q. 読者の方にメッセージを！

**A.** 子供の頃、枕元にプレゼントを見つけてワクワクしたように、病院で働く人やお見舞いの人たちの温かさに囲まれて、小さなプレゼントを受け取るような「ささやかな幸福」を感じてほしいです。



Profile  
おだ こうへい

大阪芸術大学デザイン学科卒業後、同大学図書館で非常勤職員として勤め、その後フリーのイラストレーターとなりました。主に絵本や童話的なイラストの制作をしています。

ホームページ  
「キトヒトの森」<http://kitohito.com/>

## 社会医療法人 きつこう会

**理念** 愛を原理とし 秩序を基礎とし 進歩を目的とす

**方針** 質の高い全人的な医療・介護・予防をシームレスに展開し、皆様に愛され信頼される存在となります

**行動規範** 私たちは感性を磨き、自らを高めています  
私たちは一人一人の人格を尊重し幸せな暮らしを支えます  
私たちは明るい健全な運営を行い社会へ貢献します

### 行動指針

自己研鑽 ~ Self Improvement ~ 常に自己を振り返り、自己研鑽に努めます  
顧客中心志向 ~ Customer Engagement ~ あらゆる顧客と愛着ある深い絆を築きます  
プロ意識 ~ Pride of a Professional ~ 自分たちの仕事に責任と誇りをもって取り組みます  
共働・協調 ~ Teamwork ~ チームの一員であることを意識した行動の実践に努めます  
意識改革 ~ Motivation & Challenge ~ 変わることを恐れず、新しいことへの挑戦を行います

### 編集後記



今回のvoiceは、創立70周年記念号です。これまでの70年を中心に足早に紹介させていただきました。1949年に大阪市西区九条にて21床の病院から始まった多根総合病院。地域の方々に支えられ、今ではグループ全体で888床の医療機関へと発展しました。これからも頼りにされる病院を目指して、地域の皆さまと共に歩み続けていきたいと思っております。

企画室広報課

## 多根総合病院

〒550-0025 大阪市西区九条南1-12-21  
Tel.06-6581-1071 Fax.06-6581-2520  
[受付時間] 平日 8:30~17:00  
土曜日 8:30~12:30

